

# 春 Spring

春の風物詩・信玄公祭りの出陣式  
(甲府市)



# 秋 Autumn

紅葉の名所・大柳川溪谷  
(富士川町)



# 夏 Summer

南アルプスと明野のヒマワリ  
(北社市)



# 冬 Winter

日本三奇橋の一つ・猿橋  
(大月市)



山梨県知事 長崎 幸太郎

## 発刊のことば

山梨県は、東京圏に隣接した高い利便性と、富士山をはじめとする山々や清らかな水、恵まれた日照などの自然環境、高品質な食材に裏打ちされた豊かな食文化、高い技術と伝統を持つ地場産業や高レベルな研究開発を背景にした先端技術産業など、多くの地域資源を併せ持った全国でも希有な地域です。

本年は、新型コロナウイルス感染症克服の先を見据えるとともに、県民一人ひとりの豊かさの実現に向けた「前進への本番の年」と位置付けています。

そこで山梨を日本のトッププレーヤーに押し上げるべく、前進の足場を固め、その速度を上げるキーワードとして「強靱化」<sup>きょうじん</sup>「高付加価値化」<sup>きこうかち</sup>「基礎条件充実」の「3つのK」を掲げました。これら「3つのK」に

攻めの姿勢を持って重点的に取り組んでいくことで、山梨県の可能性を100%生かしきり、県民の皆さまに豊かさを実感していただける地域を実現していきます。

また「ハイクオリティやまなし」をキャッチフレーズに、本県の地域資源の上質さをPRすることで「やまなし」のブランド価値を高め、それがまたそれぞれの地域資源の価値も向上させるという好循環を生み出していきます。

この冊子は、本県の今の姿を、データを中心に分かりやすく紹介するものとして刊行しました。私たちが誇りに思っている山梨県が、どのような地域なのか知っていただくとともに、本県の持つ魅力やポテンシャルに触れていただき、本県への関心を深めていただければ幸いです。

## Contents

■ 県政トピックス	3	■ 山梨の魅力	17
■ 山梨の姿	7	ハイクオリティやまなし	17
地 勢	7	世界遺産	25
面積・人口・市町村	9	日本遺産	27
近現代 おもなできごと	11	山梨の文化財	29
・国際交流	11	山梨の逸品	31
データで知るやまなし	13	山梨の郷土食	33
		■ おもな県立施設ガイド	35
		■ 山梨散策	37

# Topics 県政トピックス



## 新型コロナを乗り越え、 山梨の可能性を生かしきる

令和3年度は、変異株による感染拡大など、感染症対応の最中にありながら、本県は新型コロナウイルス感染症の対策とともにその先の跳躍を見据えた対策に取り組んできました。令和4年度は山梨の可能性を最大限生かしきるため、その跳躍に必要な「強靱化」「高付加価値化」「基礎条件充実」の「3つのK」を重要な柱として「一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて取り組んでいきます。

これらの施策のうち主要なものを紹介します。

### 強靱化の「K」

喫緊の課題である新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、豪雨や地震、富士山噴火などの自然災害から県民の命と暮らしを守る強靱な県土づくり、犯罪や交通事故が起こりにくい社会づくりなどに積極的に取り組み、強くなやかな社会の実現を目指します。

### 切れ目のない医療提供体制の構築

医療提供体制の強靱化に大切なのは「必要とする人に必要な医療を届ける」体制づくりです。本県では新型コロナウイルスの感染拡大下であっても医療提供体制を堅持するため、感染状況に合わせて病床や宿泊療養施設の受け入れ体制を強化するとともに、重症化リスクが比較的低いオミクロン株の特性を踏まえ、ポストコロナにおける「県民医療の強靱化」に向けた歩みを進めていくことも視野に入れながら、無症状あるいは症状が軽微であるなどの一定の要件を満たす方は、医師の判断によりご本人の同意の下、施設などで療養する場合と同等の医療を自宅においても受けられる「退所後ケア」「やまなしホームケア」の仕組みを構築しました。また陽性が確認されてから療養先が決まるまでの間も、医師や看護師からオンラインで健康観察が受けられる「ファーストケア」も導入するなど、どこにいても医師などに相談でき、療養者の生活の質にも配慮したきめ細かで切れ目のない見守り体制を整えています。



### 進化するやまなしグリーン・ゾーン認証

本県が掲げる「やまなしグリーン・ゾーン構想」は、新型コロナウイルスなどの感染症の影響下にあっても、人々が経済活動を止めずに安心して生活ができる、感染症に対して強靱な社会への移行に向けた有効な戦略です。中でも「やまなしグリーン・ゾーン認証制度」は、県が現地調査を行い、事業者の感染防止対策を認証する第三者認証制度であり、この手法は本県にない、全国の都道府県でも導入されました。

今では、県内において、この制度の対象となる宿泊業、飲食業、ワイナリー、酒蔵などの多くが認証を受けており、事業者や利用者と三位一体となって、感染症対策に取り組んでいます。

今後も認証制度の質の維持・向上に向け、緊急点検や認証基準のアップデートなどを行います。さらに国際的に評価される認証制度とするため、日本初となる海外の国際衛生基準との認証互換の取得や、最新技術などの実証事業を反映させた新しい認証制度の展開などを目指していきます。

また、グリーン・ゾーン認証制度の対象となっていない事業者が行う感染症対策に助成し、全县を挙げて感染対策の強化を図っていきます。



### 県土強靱化や県民の安全確保を目指して

県民の生命や財産を守るため、特に緊急性の高い防災・減災対策に重点的に取り組んでいます。併せて昨年改定された富士山ハザードマップを基に、富士山噴火に備えた避難計画の見直しに向けさらなる検討を進めていきます。

また、小学校の通学路における交通安全対策を強化するため、対策が必要な箇所に交通安全施設の整備を進めているところですが、さらに小学校や放課後児童クラブ、保育所などの周辺道路にある横断歩道の緊急整備を行い、子どもたちが安心して通行できる環境を整備していきます。また市町村や自治会などが行う防犯カメラの設置への支援を通じて、地域の防犯力を強化していきます。



## 高付加価値化の「K」

県民一人ひとりがその可能性を最大限に開花させ、高い付加価値を生み出すことにより、人口減少にも負けない高収益体質への移行を目指しています。本県が誇る農畜水産物や地場産品、観光資源の新たな可能性を引き出したり、地域特性や社会変容をチャンスと捉えた先端産業の成長を促したりして、県内経済の安定的な成長につなげていきます。

## 産業・観光の高付加価値化を推進

本県の主要産業である機械電子産業が有する技術を生かした、医療機器関連分野や水素・燃料電池関連分野への進出支援によりこれらの産業の県内への集積を進めるとともに、新たな産業や雇用を創り出すスタートアップ企業が本県で行う実証実験の場を提供するなど、成長産業の支援に力を入れていきます。また、さまざまな地域資源の磨き上げとその効果的なプロモーションなどにより、本県ならではの魅力的な観光地づくりを進め、高付加価値化を図っていきます。

## デジタルトランスフォーメーション（DX）<sup>ディーエックス</sup>の推進

デジタル化による社会変革（DX）が進みつつありますが、本県では「誰も取り残さない、人に優しいデジタル社会」を目指し「暮らし」「産業」「行政」のそれぞれの分野で積極的にDXを推進していきます。

中でも日々の「暮らし」に関わる地域課題の解決に向けて、誰にでも使いやすいデジタルデバイスなどを使った情報提供で利便性を高めたり、人工知能（AI）を活用したオンデマンド交通の導入を検討する市町村を支援したりするなど、県全体にデジタルの恩恵が行き渡る環境づくりを推進していきます。

## 基礎条件充実の「K」

一人ひとりに対してきめ細かく目が行き届き、その個性や能力が十分に発揮される社会の実現のためには、社会の基礎条件の充実が欠かせません。子育て・教育、介護、障害のある方への支援や共生社会の実現など、幅広い分野で施策を展開していきます。

## 25人学級などで教育の質を向上

きめ細かく質の高い教育の実現に向け、昨年4月、全国に先駆けて公立小学校の1年生に25人学級を導入しました。今年4月からはこれを2年生へも拡大するとともに、少人数教育推進検討委員会でこれまでの効果を検証し、その結果を踏まえて3年生以上への導入についても検討を進めていきます。

また、いじめや不登校対策に積極的に取り組むことができるよう、学校内での相談体制を強化するとともに、総合教育センターに「相談支援センター」を設置し、市町村の適応指導教室のサポートや長期にわたる不登校などに対応できる体制を拡充します。



## 介護待機者ゼロ社会の実現

これまで山梨を支えてこられたご高齢の方々の生活を守りながら、働く世代が親の介護の悩みを抱えずに安心して就業できる環境を整えることは、全ての世代の安心を支える基礎条件として、実現しなければなりません。本県では「介護待機者ゼロ社会」を目指し、必要とする方々が速やかに施設へ入所できるよう、特別養護老人ホームなどの拡充を進めており、令和5年度末までに新たに437床を整備していきます。また、介護現場の慢性的な人材不足が課題となっていることから、介護ロボットや情報通信技術（ICT）の導入を促進するとともに、介護職員への賃上げに対し助成し、労働環境などの改善も併せて進めていきます。

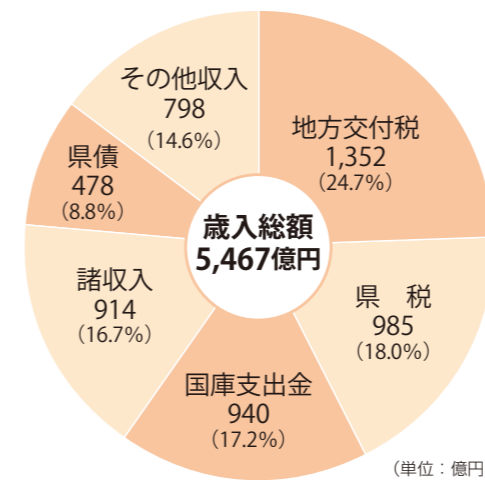


## 令和4年度当初予算は「可能性最大化予算」

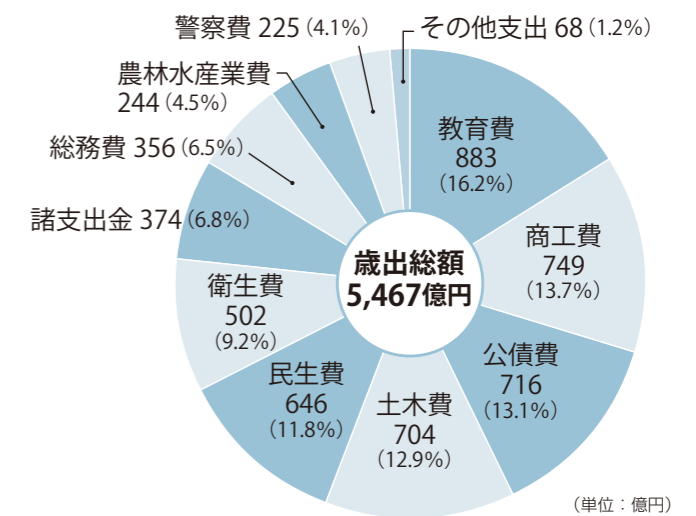
令和4年度の一般会計当初予算案は、過去最大規模の5,467億円です。県では「新型コロナ対策への集中投下」「3つのKへの重点配分」「財政の健全性・持続可能性の確保」をポイントに、各種施策を積極的に行っていきます。

### 令和4年度の一般会計当初予算は5,467億円

〈歳入〉



〈歳出〉



地方交付税	地方公共団体が一定の行政サービスを提供できるよう、財源が不足する団体に国が配分するお金
県税	県民税や事業税など、県に納められる税金
国庫支出金	特定の事業の財源として国が交付するお金
諸収入	県税の延滞金や預金利子、県からの貸付金の元利償還金など、他の収入科目に含まれない収入
県債	公共施設や道路の整備などの資金を調達するため、県が国や銀行などから長期にわたり借り入れるお金

教育費	県立学校の運営や整備などに使うお金
商工費	商業や工業の振興などに使うお金
公債費	県債の返済に使うお金
土木費	道路の整備や河川の改修などに使うお金
民生費	社会福祉や児童福祉などの事業に使うお金
衛生費	健康増進や疾病予防、環境保全などに使うお金
農林水産業費	農業、林業、水産業の振興などに使うお金
警察費	犯罪や交通事故の防止などに使うお金

※このデータは3月16日現在の情報を基に作成しています。

# 地勢 Geographical Features

■甲府盆地から北を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

山梨県は周囲を急峻な山々に囲まれています。

北東部に秩父山塊、西部に3,000m級の山々からなる南アルプス、南部には世界遺産富士山、そして北部には八ヶ岳、茅ヶ岳が広い裾野をひいています。

これらの山地は山岳、森林、湖沼、渓谷などの優れた景観に富み、富士箱根伊豆国立公園などの自然公園にも指定されています。

**おもな川** 富士川は、日本三大急流の1つです。

	(流路延長)		(流路延長)
富士川 <small>(釜無川を含む)</small>	122.40km	日川	28.40km
早川	61.00km	鶴川	24.05km
桂川	52.85km	芦川	23.64km
笛吹川	46.50km	道志川	20.00km
荒川	34.00km	多摩川 <small>(丹波川を含む)</small>	19.74km
塩川	33.06km		

(注)流路延長は山梨県内分 資料:河川表

**おもな湖沼**

	(面積)	(標高)	(深さ)	(周囲)
山中湖	6.57km <sup>2</sup>	980.5m	12.9m	12.9km
河口湖	5.48km <sup>2</sup>	830.5m	14.0m	19.9km
本栖湖	4.70km <sup>2</sup>	900.0m	121.2m	12.9km
西湖	2.10km <sup>2</sup>	900.0m	71.5m	10.0km
精進湖	0.51km <sup>2</sup>	900.0m	12.6m	6.1km

資料:国土地理院 資料:河川表

**おもな山** 日本の高い山トップ3が山梨にあります。

	(標高)		(標高)
富士山 <small>世界遺産</small>	3,776m	駒ヶ岳	2,967m
北岳	3,193m	赤岳	2,899m
間ノ岳	3,190m	観音ヶ岳	2,841m
仙丈ヶ岳	3,033m	薬師ヶ岳	2,780m
農鳥岳	3,026m	地藏ヶ岳	2,764m
		鳳凰三山	

資料:国土地理院

**自然公園** 6つの自然公園の面積は、県土の約3割を占めています。

	(面積)	(関係市町村)	(指定年月日)
富士箱根伊豆国立公園	36,796ha	富士吉田市外6町村	昭和11年2月1日
秩父多摩甲斐国立公園	46,834ha	甲府市外4市2村	昭和25年7月10日
南アルプス国立公園	18,286ha	韮崎市外2市1町	昭和39年6月1日
八ヶ岳中信高原国立公園	4,088ha	北杜市	昭和39年6月1日
県立四尾連湖自然公園	362ha	市川三郷町	昭和34年4月2日
県立南アルプス巨摩自然公園	14,841ha	韮崎市外2市3町	昭和41年4月1日

(注)面積は山梨県分 資料:環境省自然環境局

■甲府盆地から西を眺めると



この写真は、八代ふるさと公園(笛吹市)から撮影したものです

■甲府盆地から北東を眺めると



この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです



■甲府盆地から南東を眺めると

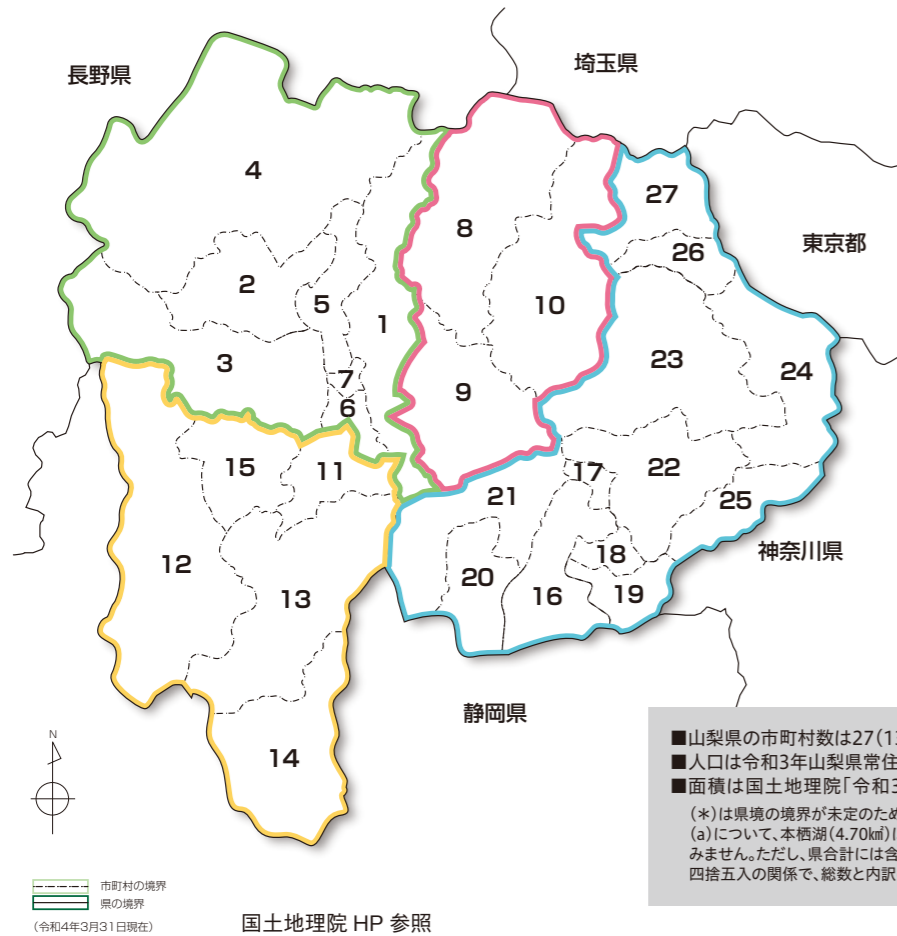


この写真は、中部横断自動車道・白根IC付近から撮影したものです

# 面積・人口・市町村

Area, Population, and Local Municipalities

山梨県は日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。面積は日本の総面積377,974.63km<sup>2</sup> (令和3年10月1日現在) の約100分の1に当たり、県土の約78%を森林が占めています。



**総面積**  
\*4,465.27km<sup>2</sup>  
全国 第32位  
(令和3年10月1日現在)

**総人口**  
805,338人  
(令和3年10月1日現在)

■山梨県の市町村数は27(13市8町6村)です。  
■人口は令和3年山梨県常住人口調査(令和3年10月1日現在)によります。  
■面積は国土地理院「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」によります。  
(\*)は県境の境界が未定のため、便宜上の概算数値である参考値を記載しています。  
(a)について、本栖湖(4.70km<sup>2</sup>)は、水面が境界未定のため、身延町と富士河口湖町の面積には含まれません。ただし、県合計には含まれます。  
四捨五入の関係で、総数と内訳の合計が必ずしも一致しません。

## 峡東地域



**8 山梨市**  
面積:289.80km<sup>2</sup>/人口:33,019人  
新日本三大夜景・笛吹川フルーツ公園のほか、豊かな自然、農村景観が魅力。



**9 笛吹市**  
面積:201.92km<sup>2</sup>/人口:66,578人  
モモ・ブドウの栽培面積、収穫・出荷量日本一。モモの花が満開の春は絶景。



**10 甲州市**  
面積:264.11km<sup>2</sup>/人口:28,914人  
日本ワイン発祥の地として日本遺産に認定。歴史的な文化財を多く有する。

## 峡南地域



**11 市川三郷町**  
面積:75.18km<sup>2</sup>/人口:14,435人  
大塚にんじん、和紙、花火、印章などの特産品や文化的資源にあふれた魅力の多いまち。



**12 早川町**  
面積:369.96km<sup>2</sup>/人口:1,048人  
大自然に恵まれたまち。地場産業では七百有余年の歴史をもつ雨煙碓が有名。



**13 身延町**  
面積:301.98km<sup>2</sup>(a)/人口:10,289人  
身延山久遠寺や下部温泉郷などで知られる。あけぼの大豆と西嶋和紙が特産品。



**14 南部町**  
面積:200.87km<sup>2</sup>/人口:6,924人  
県の最南端に位置する。温暖な気候を生かして栽培される南部茶が特産品。

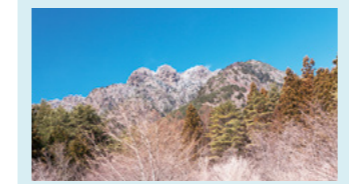


**15 富士川町**  
面積:112.00km<sup>2</sup>/人口:14,011人  
高下地区では「ダイヤモンド富士」が拝める。大法師の桜やゆず、郷土料理みみが有名。

## 富士北麓地域



**16 富士吉田市**  
面積:121.74km<sup>2</sup>(\*)/人口:46,136人  
富士山信仰が息づく織物が盛んなまち。名物は硬さが自慢の吉田のうどん。



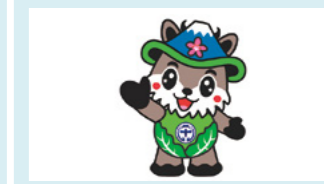
**17 西桂町**  
面積:15.22km<sup>2</sup>/人口:3,947人  
三ツ峠は高山植物の宝庫。登山やロッククライミングを楽しめる場所が多い。



**18 忍野村**  
面積:25.05km<sup>2</sup>/人口:9,258人  
世界文化遺産・富士山の構成資産である忍野八海は、国内外の観光客に人気。



**19 山中湖村**  
面積:53.05km<sup>2</sup>/人口:5,195人  
富士山が間近にそびえ、標高1,000メートルに位置する高原リゾート地。涼しい夏に観光客が多く訪れる。

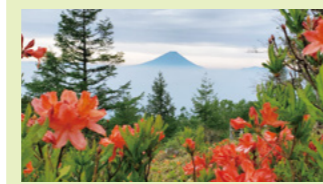


**20 鳴沢村**  
面積:89.58km<sup>2</sup>(\*)/人口:2,805人  
標高1,000メートルの自然豊かな環境で育った新鮮な高原野菜やブルーベリーが有名。

## 中北地域



**1 甲府市**  
面積:212.47km<sup>2</sup>/人口:188,926人  
県庁所在地。地場産業の水晶研磨などの宝飾産業は世界的に高い評価を誇る。



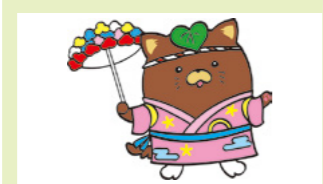
**2 韮崎市**  
面積:143.69km<sup>2</sup>/人口:28,781人  
「甲斐武田家」発祥の地。甘利山のレンゲツツジなど、四季折々の景色を楽しめる。



**3 南アルプス市**  
面積:264.14km<sup>2</sup>/人口:69,489人  
市の名前になった南アルプス山麓に位置し、サクランボとスモモ栽培が盛ん。



**4 北杜市**  
面積:602.48km<sup>2</sup>/人口:43,972人  
八ヶ岳をはじめとする山々が魅力。日本有数のミネラルウォーターの生産地。



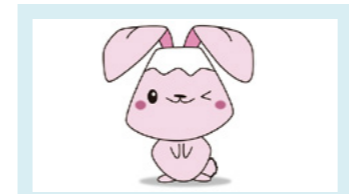
**5 甲斐市**  
面積:71.95km<sup>2</sup>/人口:75,516人  
やほたいもや甲斐のぎゅぎゅっとねぎ、赤坂とまとなど、地元ブランド野菜の特産品が充実。



**6 中央市**  
面積:31.69km<sup>2</sup>/人口:30,957人  
県の中央部に位置する。トマト、スイートコーンなどの栽培が盛んで都市機能も充実。

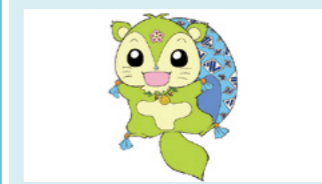


**7 昭和町**  
面積:9.08km<sup>2</sup>/人口:21,149人  
甲府昭和インター開設により区画整備が推進され、住宅地や商業地が整う。

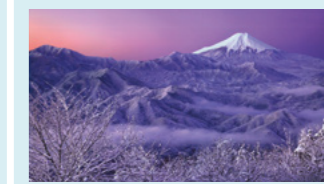


**21 富士河口湖町**  
面積:158.40km<sup>2</sup>(a)/人口:26,149人  
富士五湖のうち4湖を有する日本屈指の景勝地。温泉郷としても有名。

## 東部地域



**22 都留市**  
面積:161.63km<sup>2</sup>/人口:30,669人  
リニアモーターカー実験線の拠点。湧水で育てる水かけ菜が特産品。



**23 大月市**  
面積:280.25km<sup>2</sup>/人口:21,965人  
大月市秀麗富嶽十二景を選定し、富士山が美しく見える場所や山が多く存在。



**24 上野原市**  
面積:170.57km<sup>2</sup>/人口:22,452人  
県の最東部。宿場町の面影や、与謝野鉄幹・晶子の愛した桂川の風景などが魅力。



**25 道志村**  
面積:79.68km<sup>2</sup>/人口:1,571人  
クレソンの産地として知られ、キャンプ場の多さは日本有数。



**26 小菅村**  
面積:52.78km<sup>2</sup>/人口:662人  
東京都に隣接する多摩川源流の地。流域の豊かな自然は、四季を問わず訪れた人々を魅了。



**27 丹波山村**  
面積:101.30km<sup>2</sup>/人口:521人  
自然豊かな山村。シカ肉などのジビエが特産として注目を集めている。

# History 山梨の近現代 おもなできごと



明治10年落成当時の山梨県庁



新笹子トンネル開通



アイオワ州と山梨県が姉妹県と書かれた飛行機



オリンピックの自転車競技ロードレースで県内を走る選手ら

## 明治

- 元年(1868) 官軍甲府入城、甲斐府を置く
- 2年(1869) 甲斐府を廃し甲府県とする
- 4年(1871) 甲府県を山梨県に改める
- 5年(1872) 大小切騒動が起こる
- 6年(1873) 大阪府参事藤村紫朗、山梨県権令となる(翌年県令となる)
- 10年(1877) 山梨県庁落成。第十国立銀行設立
- 13年(1880) 明治天皇巡幸
- 36年(1903) 中央線が甲府駅まで開通
- 44年(1911) 御料林を山梨県へ御下賜の御沙汰書。中央線新宿～名古屋間全線開通

## 大正

- 元年(1912) 県恩賜県有財産管理規則制定
- 9年(1920) 恩賜記念の謝恩碑が舞鶴公園に完成。第1回国勢調査、県人口58万3,453人



恩賜記念の謝恩碑

## 昭和

- 3年(1928) 富士身延鉄道(現在の身延線)全線開通。県議会議事堂完成
- 5年(1930) 県庁新庁舎(現在の別館)完成
- 6年(1931) 中央線甲府～新宿間電化
- 7年(1932) 富士山測候所開設
- 16年(1941) 身延線国有化
- 20年(1945) 甲府空襲、全市の74%が焦土と化す
- 25年(1950) 「山梨県の歌」決まる。第1回植樹祭を山梨県で開催
- 33年(1958) 国道20号に新笹子トンネル開通
- 35年(1960) アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結
- 38年(1963) 県庁舎本館完成(内藤多仲ら設計)
- 39年(1964) 富士山有料道路(スバルライン)開通
- 44年(1969) 中央自動車道富士吉田線開通
- 45年(1970) 第1回信玄公祭開催
- 53年(1978) 県立美術館開館
- 57年(1982) 中央自動車道全線開通
- 61年(1986) かいじ国体、ふれあいのかいじ大会開催



美術館の一般公開に訪れた県民たち

## 平成

- 元年(1989) リニア新実験線建設地が山梨に決定
- 8年(1996) 地方病の流行終息宣言
- 10年(1998) 雁坂トンネル開通
- 15年(2003) 「平成の大合併」県内第1号として、新・南部町誕生
- 17年(2005) 山梨県立大学開学
- 25年(2013) 富士の国やまなし国文祭開催。「富士山」世界文化遺産登録
- 26年(2014) 豪雪災害の発生
- 27年(2015) 山梨近代人物館開館



山梨・静岡両県の関係者が開通を祝った

## 令和

- 元年(2019) 山梨「ワイン県」宣言
- 2年(2020) 新型コロナウイルス感染症の世界的大流行
- 3年(2021) 東京2020オリンピック・パラリンピック開催。山梨県が初めてオリンピック競技の開催地に。中部横断自動車道 山梨～静岡間全線開通

# International Relations

## 国際交流

■問い合わせ先 国際戦略グループ TEL 055-223-1435

山梨県では1960(昭和35)年に、全国に先駆けて、アメリカ合衆国アイオワ州と姉妹締結を行いました。その後、ブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州、中華人民共和国四川省、大韓民国忠清北道、フランス共和国ソーヌ・エ・ロアル県と姉妹・友好締結を行っています。

今後も「国際化を推進する地域づくり」に取り組む中で、活発な国際交流活動を展開します。

### 姉妹州

#### アメリカ合衆国 アイオワ州

1960(昭和35)年3月14日締結

本県が昭和34年の台風で甚大な被害を受けたとき、同州から見舞いとして農畜産物が贈られたことが姉妹締結の直接の契機となりました。都道府県が結ぶ姉妹関係としては、わが国での草分けとなりました。

- 人口 319万人(2020年)
- 面積 14万5千km<sup>2</sup>
- 州都 デモイン市 人口21万人(2020年)
- 農業 トウモロコシ、大豆、豚、鶏卵、牛
- 工業 機械、食品、化学、バイオテクノロジー



### 姉妹州

#### ブラジル連邦共和国 ミナス・ジェライス州

1973(昭和48)年7月25日締結

研磨・宝飾産業が盛んな本県に対し、同州は貴金属の原石供給地であることから姉妹締結を行いました。本県とは地球の反対側に位置し、中南米における国際交流活動推進の拠点となっています。

- 人口 2,141万人(2021年)
- 面積 58万7千km<sup>2</sup>
- 州都 ペロオリゾンテ市 人口253万人(2021年)
- 農業 牧畜、コーヒー、大豆、サトウキビ、トウモロコシ
- 工業 鋳業、製鉄、セメント、自動車



作者 Adalano Lázaro

### 友好省

#### 中華人民共和国 四川省

1985(昭和60)年6月18日締結

共に内陸部にあり、富士山、峨眉山等の名山を有するなど類似点が多く、民間レベルで活発に交流活動が行われていたことが契機となり、友好省の締結を行いました。省都である成都市は、中国西南部地域の商業貿易・金融・化学技術の中心地でもあり、西部大開発の中心拠点都市として発展しています。

- 人口 8,367万人(2020年)
- 面積 48万6千km<sup>2</sup>
- 省都 成都市 人口1,658万人(2020年)
- 農業 水稲、菜種、生糸、馬鈴しょ、養豚、茶、野菜
- 工業 飲料、農産物加工、医薬品、IT、自動車



### 姉妹道

#### 大韓民国 忠清北道

1992(平成4)年3月27日締結

ライオンズクラブやロータリークラブなどの民間交流がきっかけとなり、甲府商工会議所と清州商工会議所の姉妹締結を経て、両県道の姉妹締結に至りました。本県と同じく盆地で形成され、清州国際空港や高速鉄道、工業団地などのインフラ整備により、活気ある経済活動が展開されています。

- 人口 160万人(2021年)
- 面積 7千4百km<sup>2</sup>
- 道都 清州市 人口85万人(2021年)
- 農業 ブドウ、高麗人参、畜産物加工品、唐辛子、リンゴ
- 工業 半導体、電機電子、バイオテクノロジー、化学



### 姉妹県

#### フランス共和国 ソーヌ・エ・ロアル県

2000(平成12)年4月7日締結

フランスを代表するワインの産地であるブルゴーニュ地方南部に位置し、ソーヌ川とロアル川がゆったりと流れ、なだらかに連なる丘と豊かな田園風景が印象的です。

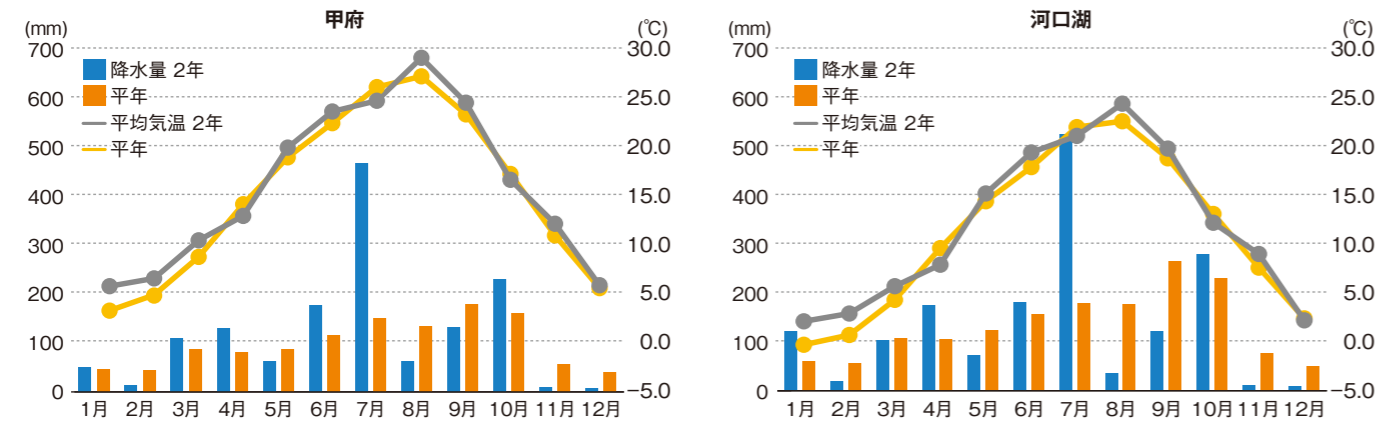
- 人口 55万人(2019年)
- 面積 8千6百km<sup>2</sup>
- 県都 マコン市 人口3万4千人(2019年)
- 農業 ワイン、シャロレー牛、羊、プレス地鶏、チーズ
- 工業 金属、機械、食品加工



# Data File データで知るやまなし

## 気候

### 月別平均気温と降水量(令和2年と平年)



※平年値は、平成3年～令和2年まで30年間の平均値  
 <甲府地方気象台資料に基づき作成>

### 全国から見た山梨の気象

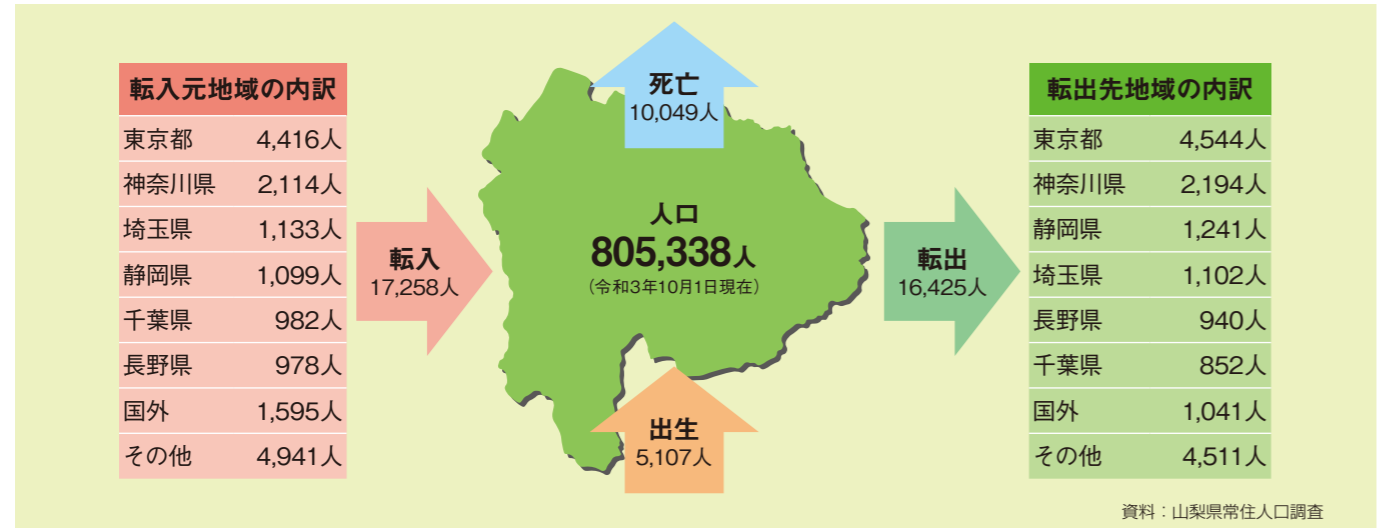
項目	比較年度	単位	本県		全国最高値		全国最低値	
			指標値	順位				
日照時間(年間)	2年度	時間	2,250.3	2	高知県	2,310.1	秋田県	1,535.7
降水量(年間)	2年度	mm	1,431.0	35	高知県	3,238.5	北海道	905.0
快晴日数(年間) <sup>*1</sup>	30年度	日	38	9	宮崎県	67	沖縄県	5
降水日数(年間) <sup>*2</sup>	2年度	日	89	45	石川県	194	岡山県	85
雪日数(年間) <sup>*3</sup>	2年度	日	8	11	北海道	118	沖縄県	0
年平均気温	2年度	℃	15.9	29	沖縄県	23.8	北海道	10.0
最高気温(日最高気温の月平均の最高値)	2年度	℃	35.8	4	京都府	36.2	北海道	28.1
最低気温(日最低気温の月平均の最低値)	2年度	℃	0.2	7	北海道	-5.3	沖縄県	16.1
年平均相対湿度	2年度	%	68	37	富山県	78	広島県	61

※1「快晴日数」は、日平均雲量が1.5未満の日数  
 ※2「降水日数」は、日降水量が1.0mm以上の日数  
 ※3「雪日数(年間)」は、令和元年8月から令和2年7月までの日数

資料：統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

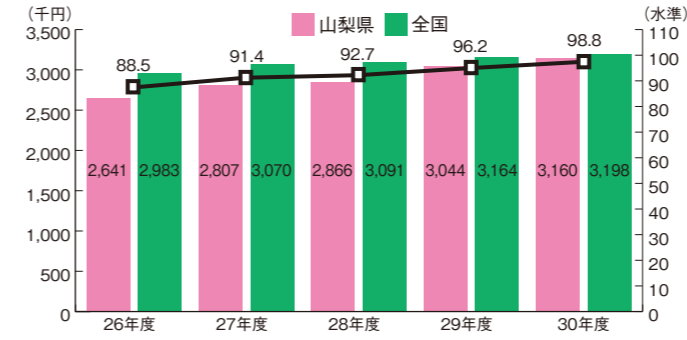
## 人口動態

### 令和2年10月1日～令和3年9月末



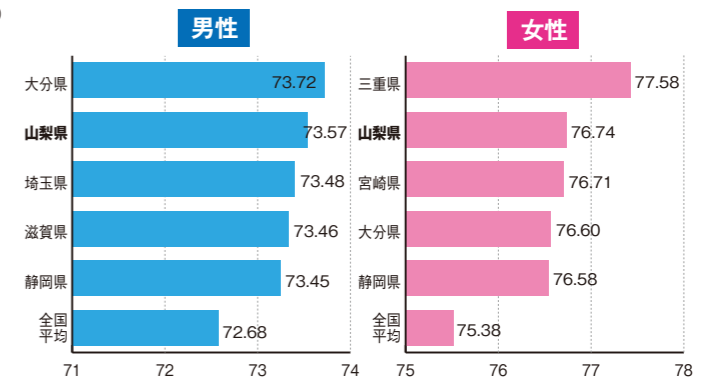
## 県民生活

### 1人あたり県(国)民所得と全国との水準の推移



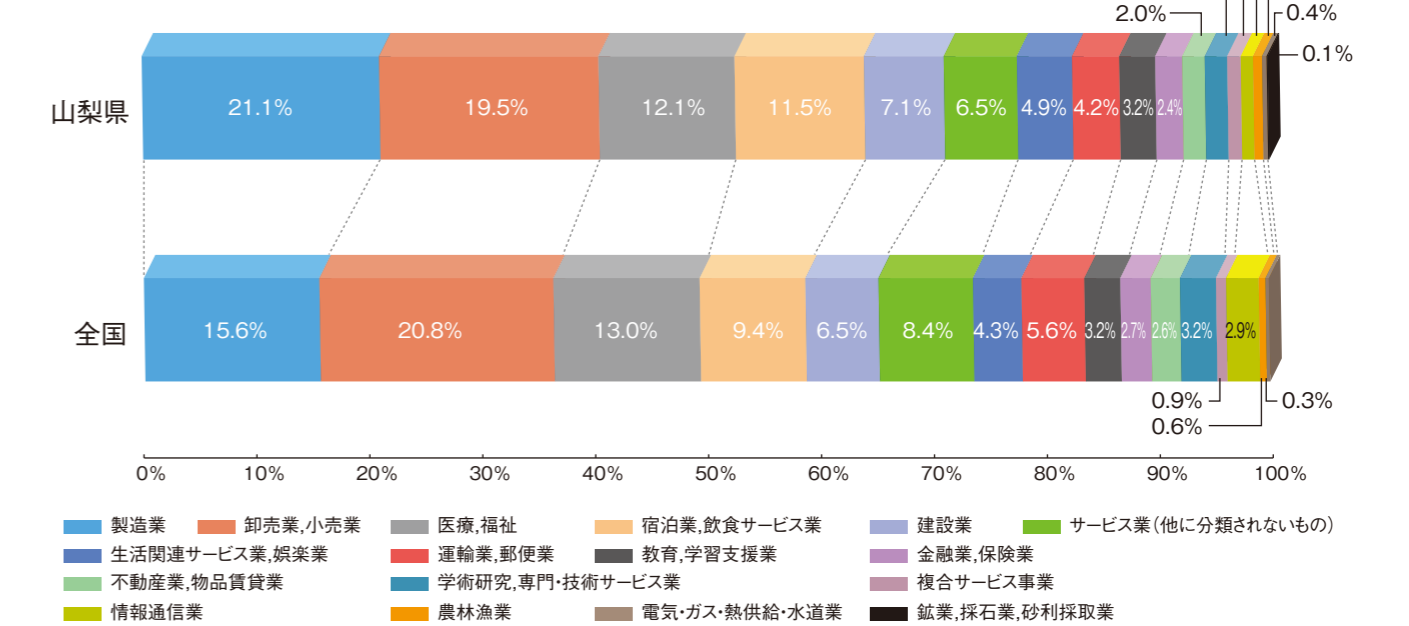
注) 1人あたり県民所得は「県民雇用者報酬、財産所得、企業所得」により構成されている県民所得を総人口で除したものである。したがって個人の給与や実収入額などとの比較はできない。折れ線グラフは1人あたり国民所得を100とした場合の県民所得の水準の推移である。  
 資料：平成30年度県民経済計算

### 健康寿命(令和元年)



資料：厚生科学審議会第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会(厚生労働省)

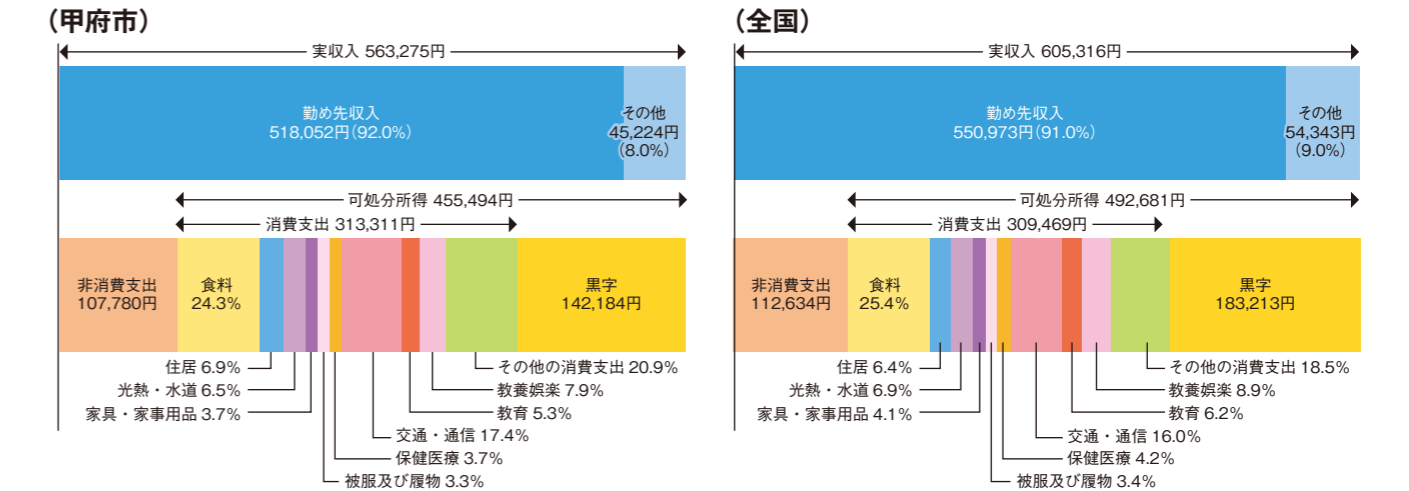
### 産業別従業者数構成比(平成28年)



※単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：平成28年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

### 2人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支(令和3年)



注) 1 図中の「勤め先収入」及び「その他」の割合(%)は、実収入に占める割合である。  
 2 図中の「食料」から「その他の消費支出」までの割合(%)は、消費支出に占める割合である。  
 3 図中の「消費支出」のうち、他の世帯への贈答品やサービスの支出は「その他の消費支出」の「うち交際費」に含まれている。

※単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計が必ずしも一致しない。

資料：家計調査(総務省)

# 魅力や意外な事実を紹介!

## 統計でみる山梨県の全国トップ3

### 標高



第1位 3,776m(富士山)  
第2位 3,193m(北岳)  
第3位 3,190m(間ノ岳)

国土地理院ホームページ

### 日照時間



令和2年度  
第2位 2,250.3時間(年間)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

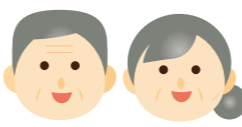
### 多目的運動広場数(公共)



平成30年度  
第3位 166.5施設(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)


### 健康寿命



令和元年  
第2位 73.57年(男性)  
第2位 76.74年(女性)

厚生科学審議会第16回健康日本21(第二次)推進専門委員会(厚生労働省)


### 高齢就業者割合(65歳以上)(対65歳以上人口)



平成27年度  
第2位 27.0%

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

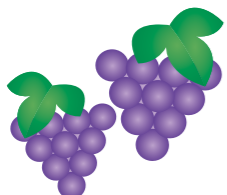
### 着工新設持ち家比率(対着工新設住宅戸数)



令和2年度  
第1位 68.2%(マイホームを新しく建てる率)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

### ブドウ生産量



令和3年  
第1位 40,600t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

### モモ生産量



令和3年  
第1位 34,600t(年間)

作物統計調査(農林水産省)


### スモモ生産量



令和3年  
第1位 6,680t(年間)

作物統計調査(農林水産省)

### ブドウ支出金額



平成30年~令和2年平均  
第1位 7,448円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキングの「食料支出金額」

### モモ支出金額



平成30年~令和2年平均  
第2位 3,085円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキングの「食料支出金額」


### マグロ支出金額



平成30年~令和2年平均  
第2位 9,240円(1世帯当たり年間)

家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキングの「食料支出金額」

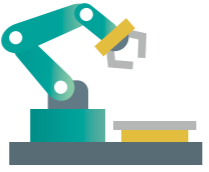
### 貴金属・宝石製装身具(ジュエリー)製品製造事業所数



令和2年  
第1位 90事業所

2020年工業統計調査(経済産業省)

### 数値制御ロボット出荷額



令和元年  
第1位 2,402億円

2020年工業統計調査(経済産業省)

### 半導体・IC測定器出荷額



令和元年  
第2位 488億円

2020年工業統計調査(経済産業省)

### 1日の食事時間



平成28年  
第1位 1時間45分

平成28年 社会生活基本調査結果報告書(県統計調査課)

### すし店数



平成26年  
第1位 0.3事業所(人口千人当たり)

平成26年経済センサス基礎調査(総務省)

### 保健師数



平成30年度  
第3位 76.5人(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

### ミネラルウォーター出荷額



令和元年  
第1位 682億円

2020年工業統計調査(経済産業省)

### ワイナリー数



令和元年度  
第1位 85事業所

酒類製造業及び酒類卸売業の概況

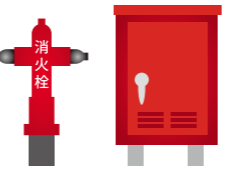
### 日本ワイン生産量



令和元年度  
第1位 5,503kℓ

酒類製造業及び酒類卸売業の概況

### 消防水利数



令和元年度  
第1位 3,850.3所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

### セルフサービス事業所数(二人以上の世帯)



平成26年度  
第1位 130.8所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)


### 書斎・学習用机・椅子支出金額



平成29年~令和元年平均  
第1位 1,722円(1世帯当たり年間)

家計調査(総務省)

### コンビニエンスストア数



平成26年度  
第2位 33.3所(人口10万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

### 図書館数



平成30年度  
第1位 64.9館(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)

### 青少年教育施設数



平成30年度  
第3位 17.1所(人口100万人当たり)

統計でみる都道府県のすがた2022(総務省統計局)



# ハイクオリティやまなし農業

■問い合わせ先 農政総務課 TEL 055-223-1583

山梨県の農業は、変化に富んだ自然や大消費地の東京圏に近い有利な立地条件を生かしながら、農業者のたゆまぬ努力と高度な生産技術の確立などにより、果樹、野菜、畜産、水稲、花きなどの特色ある産地を形成しています。

中でも果樹は農業生産額の約6割を占め、ブドウ、モモ、スモモは全国一の生産量を誇っています。

さらに、甲州牛や甲州富士桜ポークなどのブランド食肉の認知度向上や、日本で初めてキングサーモンとニジマスを交配させて誕生した「富士の介」など農畜水産物のブランド化を推進し、本県農畜水産物の高付加価値化に取り組んでいます。

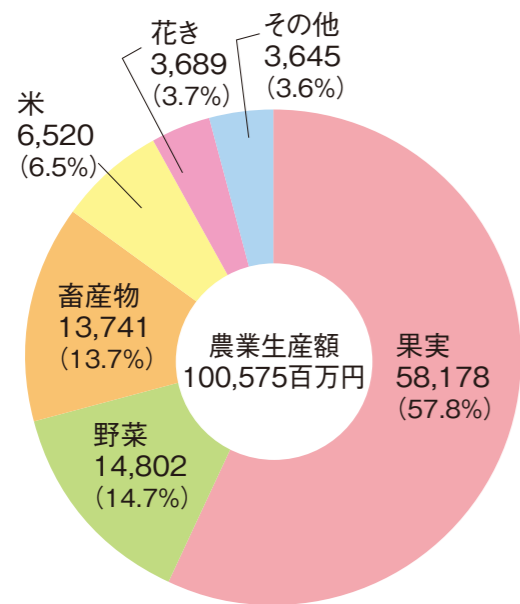


「天空の棚田」撮影場所：南アルプス市  
(第15回やまなし農村風景写真コンクール 山梨県知事賞作品)



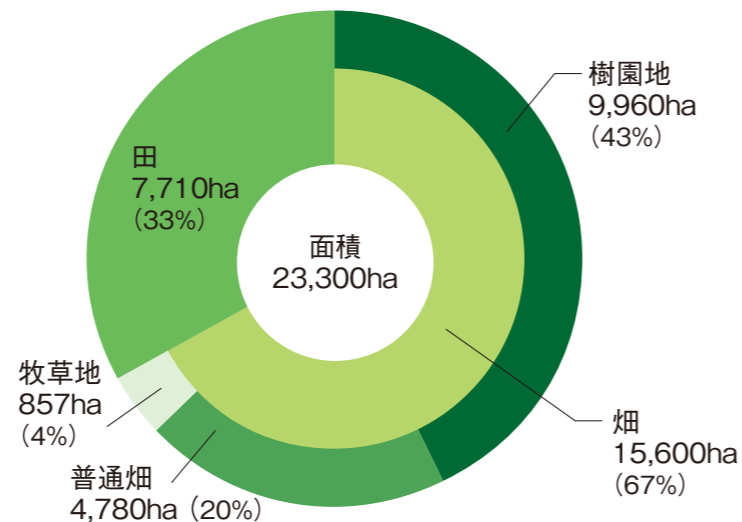
「家族の花つみ」撮影場所：笛吹市  
(第15回やまなし農村風景写真コンクール 豊かさ実感賞作品)

## ■農業生産額(令和2年) (単位：百万円)



資料：令和2年農業及び水産業生産額実績（山梨県農政部）

## ■耕地面積(令和3年7月15日現在)



資料：耕地及び作付面積統計（農林水産省）  
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない。)

## おいしい未来へ やまなし

本県は良質な水や長い日照時間、豊かな土壌に恵まれており、高品質な農畜水産物を多く生産しています。近年は高品質だけでなく、4パーミル・イニシアチブやアニマルウェルフェアなど、農業分野から持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた取り組みや、食の安全安心のための取り組みなど、おいしさの先を行く県産農畜水産物の魅力を消費者目線で伝えるため、県独自のブランド「おいしい未来へ やまなし」を立ち上げました。ブランドの基準を満たす農畜水産物には、山梨を象徴する富士山に、未来の輝きを表す星の形をかたどったロゴマークが使用されています。

今後も生産者の所得向上や国内消費、海外輸出のさらなる拡大に向け、この新ブランドのプロモーション活動を積極的に実施し、山梨の付加価値の高い農畜水産物を発信していきます。



富士の介やシビエ、  
県産野菜などで作った料理



おいしい未来へ  
やまなし

「おいしい未来へ やまなし」  
のロゴマーク

## スマート農業

農業が持続的な産業として発展するためには、ICTなどの活用が不可欠です。県が参画したコンソーシアムでは、限られた場所で使用する第5世代の移动通信システム(ローカル5G)を使い、ベテラン農家の技術を学習したAIからの摘粒などの指示をスマートグラスに伝えることで、新規就農者や雇用者などが熟練の技術を効率的に習得できるシステムを開発しました。また、ブドウや野菜などの生育環境をセンサーで感知し、高品質・多収要因を解析することで、生産性の飛躍的向上を目指す「データ農業」の技術開発を推進していきます。



スマートグラスを使ったブドウの作業

## 4パーミル・イニシアチブ

土壌に炭素を貯留することで、大気中の二酸化炭素濃度を低減し、地球温暖化を抑制する国際的な取り組みである「4パーミル・イニシアチブ」に、本県は令和2年4月から日本の地方自治体として初めて参加しています。本県の主要農作物であるブドウやモモなどの果樹の剪定枝を炭化し、土壌に貯留することで、二酸化炭素の抑制に貢献することができます。また、この取り組みにより生産された果実を環境に配慮した農産物として認証することでブランド化を図り、農産物の高付加価値化を目指しています。



ブドウの剪定枝からできたバイオ炭「4パーミル・イニシアチブ」のロゴマーク

## アニマルウェルフェア

アニマルウェルフェアとは「動物福祉」「家畜福祉」とも訳され、鶏を地面に放して飼う平飼いや牛の放牧など、家畜の快適性に配慮した飼養管理を行うことです。県では認証制度を全国に先駆けて創設しました。講習会の受講などにより知識を習得した上で、家畜の飼育面積や環境などの基準を満たす実践農場をそれぞれの達成度に応じた3段階で認証します。その段階に応じたロゴマークを付与していることから、新たな価値の付いたブランド畜産物を消費者が選びやすくなっています。



快適性に配慮した飼養管理「アニマルウェルフェア」のロゴマーク

# 水

■問い合わせ先 自然共生推進課 TEL 055-223-1634

山梨県は、富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父などの山々に囲まれ、山に降る雨や雪が森林を潤しながら伏流水となり「天然の水がめ」と呼ばれるほど豊富な水をたたえています。

こうした豊かな自然や良質な水は、生産量日本一を誇るミネラルウォーターをはじめ、ブドウやモモなどの美味しい果物や日本酒、富士の介などの養殖魚、長い歴史を持つ織物や手すき和紙などのさまざまな特産品を育むとともに、多様な泉質を持つ温泉や「名水百選」などに選ばれる湧水、渓谷等の観光地としての魅力を創出するなど、多くの恵みがもたらされています。



西沢渓谷七ツ釜五段の滝（山梨市）



手すき和紙芸には豊かで良質な水が必要



西山温泉（早川町）

# 林業

■問い合わせ先 林政総務課 TEL 055-223-1642

山梨県は、県土の約78%を森林が占める全国有数の森林県です。このうち、森林面積の約44%を占める人工林の多くが大きく成長し、木材として利用可能な時期を迎える中、ICT等の先端技術を活用し、森林施業の生産性・安全性を向上させるスマート林業の推進や公共建築物等への積極的な県産材の利用などを通じて「伐って、使って、植える」という森林資源の循環利用に取り組んでいます。


また、森林環境税などを活用し、荒廃した民有林の間伐を行うなど、山地災害の防止や水源の涵養、地球温暖化の防止といった森林の有する公益的機能が将来にわたって発揮されるための取り組みのほか、キノコ類やタケノコ、ワサビなど特産林産物の産地化を推進しています。



手入れが行き届いた人工林



山梨オリジナルの特産林産物 山梨夏っ子きのこ




## 天に選ばれし、名水の地。山梨。

県では、健全な水循環を守り育てる「育水」という考え方のもと、民間企業や団体などと連携しながら、豊かで良質な水を将来にわたって保全するとともに「名水の地 やまなし」で育まれる豊富な地域資源（観光資源、県産品、自然環境、歴史文化など）と融合し、その魅力を国内外に情報発信するなど、山梨の「水」のブランド力、さらには本県のブランド力向上を目指しています。


## FSC® 森林管理認証

県有林は、公有林としては全国に先駆けFSC 森林管理認証を取得しています。この認証は、県有林が環境、社会、経済の各分野において国際的な基準に従い適切に管理されていることを証明するものです。

認証面積は14万3千ヘクタールで国内認証の約3分の1を占め、全国1位。その豊かな森林資源から生産された木材はFSC 認証材として、東京2020オリンピック・パラリンピック関連施設や公共建築物、その他さまざまな商品に活用されています。

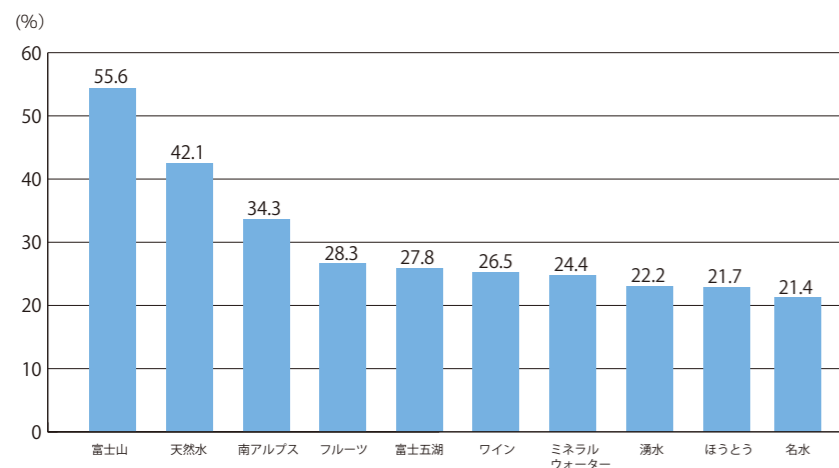


責任ある森林管理のマーク



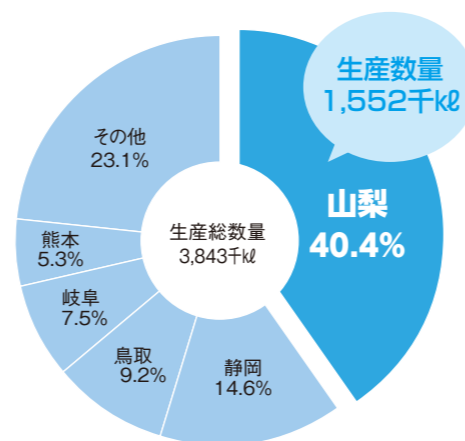
国立競技場スタンド 観客席を覆う大屋根に県産FSC認証材（カラマツ）を使用  
(提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター)

### 「山梨の水」と聞いてイメージするもの



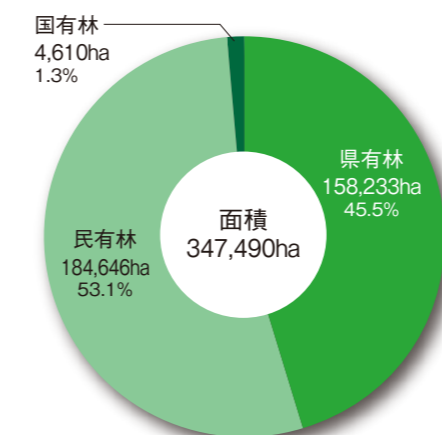
資料：令和3年度やまなしの「水」に関する意識調査結果（上位10位）※複数回答あり

### ■ミネラルウォーター都道府県別生産数量(令和2年)



資料：日本ミネラルウォーター協会統計資料  
(端数処理により内訳の合計は100%にならない)

### ■所有形態別森林面積



資料：R3山梨県林業統計書  
(統計表の基準により四捨五入したため、計と内訳は一致しない)

### ■森林面積と森林比率

山梨	
総面積	446,527ha
森林面積	347,490ha
森林比率	77.8%

資料：R3山梨県林業統計書

### ■人工林面積と人工林比率

山梨	
森林面積	347,490ha
人工林面積	153,259ha
人工林比率	44.1%

資料：R3山梨県林業統計書

# 観光

■問い合わせ先 観光文化政策課 TEL 055-223-1556

山梨県は、豊かな自然環境、先人たちが積み重ねてきた歴史や文化、四季の特徴が際立つ気候、風土の恵みである食といった、観光地として必要な要素を高いレベルで兼ね備えています。本県が魅力的な地として観光客から選ばれ満足してもらえるよう、これらの地域資源を活用するとともに、これまで観光に活用されてこなかった新たな地域資源を掘り起こし、磨きをかけ、光を当てる取り組みを進めています。また、観光客が訪れることで、地域社会が活性化し、観光事業者にとっても働く魅力が向上するよう、観光産業の高付加価値化を推進しています。



ワイン、食、温泉、グランピングなど、山梨ならではの観光コンテンツが充実

## 美食王国やまなし 美味しいものを食べに山梨に行こう

本県は約150年続くワイン造りの歴史と伝統があり、今もお日本ワイン生産量、ワイナリー数ともに日本一を誇る「ワイン県」です。ワイン県宣言をきっかけに、ワインを通じた周遊観光や地場産業の活性化を図るべく取り組んできました。中でもワインとの相性が良い「食」は重要であり、県産の高品質な食材を活用したり掘り起こしたりしながら、ワインと食の相乗効果により、食事が旅行の目的となる「美食王国やまなし」を目指しています。

ワインに合う食材として本県のブランド魚「富士の介」や天然資源のニホンジカを食材として有効活用する「やまなしジビエ」などがあります。また、その他にも伝統野菜や新品種のフルーツなど、本県には豊富な食材があります。本県で活躍するシェフなどがメニューづくりに取り組む「美食コンソーシアム」と連携しながら、これらの県産食材を使った新しい食文化を創造し「美食王国やまなし」の実現を目指していきます。



県産食材を使ったメニューを開発

## マース やまなし観光 MaaS

複数の公共交通や移動サービス、観光施設などを最適に組み合わせ、スマートフォンでルート検索から施設・体験などの予約・決済までを一括で行う「やまなし観光 MaaS」。この県内展開を目指し、昨年11月に最新小型モビリティ「PiiMo」による国内初となる公道走行などの実証事業を、甲府市の昇仙峡などをはじめとする観光地で行いました。

今後、県内全域への展開などサービスの充実に向け、民間事業者を中心に市町村や観光団体とも連携しながら、新たな観光を体験できる地として本県が選ばれるよう、体制を整えていきます。



最新小型モビリティ「PiiMo」

## やまなし自然サウナととのいプロジェクト

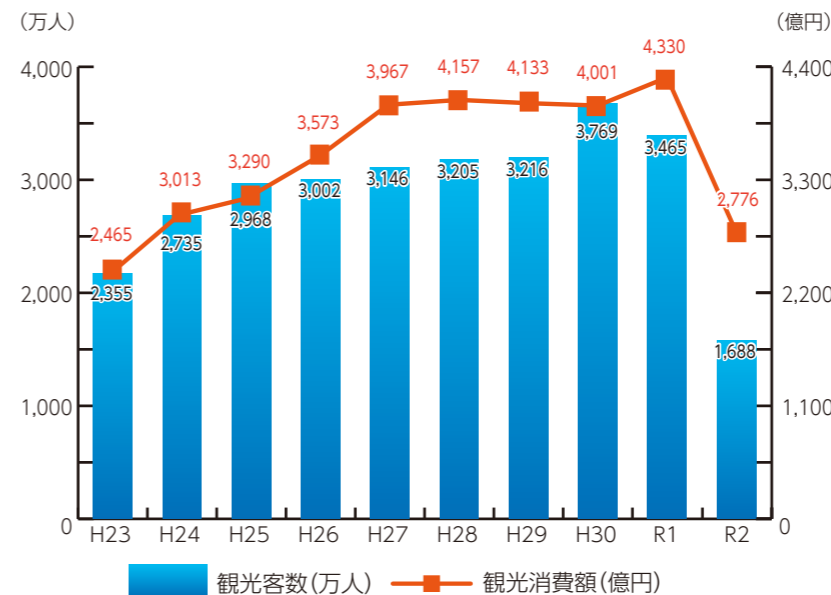
名水の地である本県は、上質な水質を誇っています。そこで、テント型のサウナを設置し、自然の中でサウナを楽しむアウトドアサウナを新たな観光資源とするべく「やまなし自然サウナととのいプロジェクト」を立ち上げました。県の若手職員と、県内でアウトドア関連事業を行う事業者が連携し、観光資源への磨き上げと情報発信を行っていきます。

県内のキャンプ場などでは、このプロジェクトに合わせて環境整備やイベントを行うなど、山梨県をアウトドアサウナの聖地とするべく、全県で取り組んでいます。



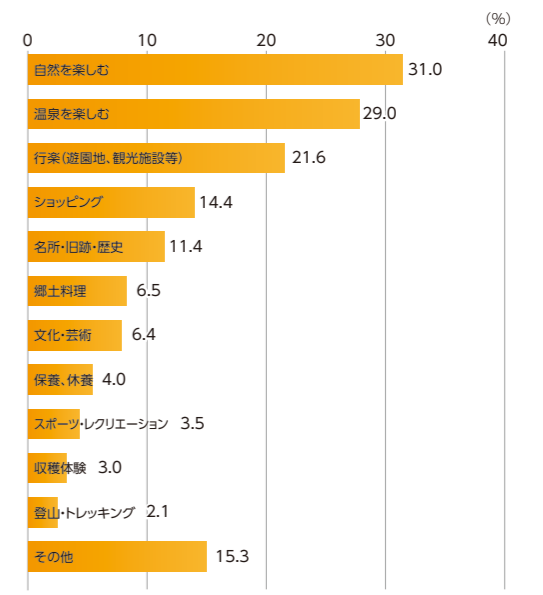
自然の中のサウナで「ととのい」を体験

### 観光客数・観光消費額の推移



資料：令和2年山梨県観光入込客統計調査

### 観光目的



資料：令和2年山梨県観光入込客統計調査

# 地場産業

■問い合わせ先 地場産業について 産業振興課 TEL055-223-8871

山梨県には、古くから続く伝統的な地場産業が数多くあります。

中でも、世界から評価を受けているワイン、豊富で上質な水で仕込む日本酒、高度な技術で美術品の域に高められている水晶細工、千年以上の歴史を誇る産地で作られる織物、そして風土と暮らしの中で受け継がれてきた印章や印伝といった工芸品などが有名です。

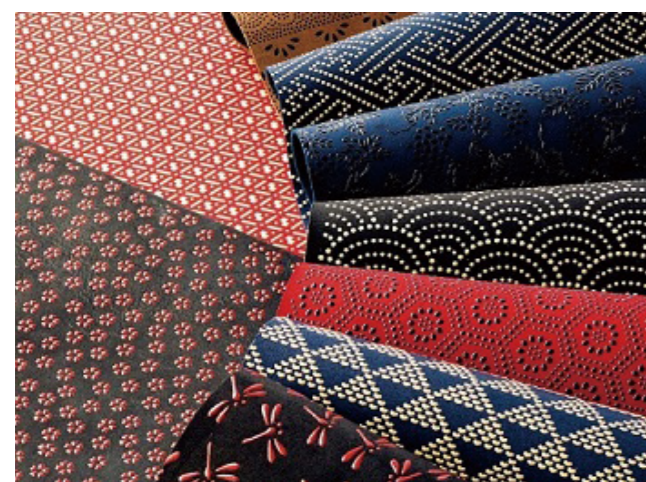
雄大な自然と歴史の中で思いを込め、時間をかけて丁寧に仕上げるつくり手が、本県の地場産業を支えています。

## 美酒美県やまなし

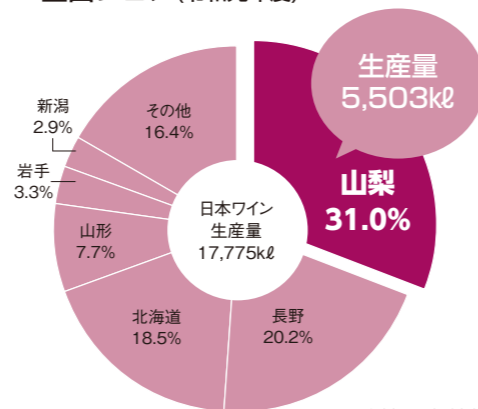
お酒の地理的表示 (GI) は、地域の気候や風土、伝統的な製法などを生かして、品質にこだわって生産に取り組んでいる産地を国が指定する制度です。平成 25 年に全国で初めてワインで GI「山梨」が指定され、令和 3 年には日本酒でも GI「山梨」が指定されました。同じ県から2つの酒類で GI が誕生するのも全国初です。これを受け県では、おいしいお酒は美しい自然が育てる「美酒美県やまなし」と銘打ち、本県が誇る美しい自然と匠の技から生み出される高品質な日本酒・ワインを国内外に向けて PR しています。



「美酒美県やまなし」として日本酒とワインを PR



■日本ワイン\*生産量の 全国シェア (令和元年度) \*日本国内で製造されたブドウを 100% 使用して国内で醸造されたワイン



資料：酒類製造業及び酒類卸売業の概況



# 先端産業

■問い合わせ先  
 メディカル・デバイス・コリドー、燃料電池について 成長産業推進課 TEL055-223-1565  
 P2Gシステムについて 新エネルギーシステム推進室 TEL055-234-5268  
 オープンプラットフォーム山梨について リニア未来創造・推進課 TEL055-223-1363

本県の機械電子産業の優れた技術蓄積を生かしながら、新たな技術などを取り入れ、今後成長が見込まれる医療や健康に関連した産業、次世代のエネルギーを生み出す産業などの立地、集積が進んでいます。

また、リニア中央新幹線の開業により、東京圏や中京圏とのアクセスが飛躍的に向上し、劇的な時間短縮が見込まれます。このチャンスをつかみ取り、本県の発展につなげていくための基本戦略として「リニアやまなしビジョン」を策定し、テストベッドを突破口に最先端技術で未来を創るオープンプラットフォーム山梨の実現に向けて挑戦しています。

## メディカル・デバイス・コリドー

本県の主力産業である機械電子産業の高い技術力や立地特性を生かして、今後も成長が期待される医療機器関連分野を新たに本県をけん引する産業に育て、甲府盆地から静岡県東部の医療産業集積地「ファルマバレー」までを結ぶ一帯に医療機器関連産業を集積する「メディカル・デバイス・コリドー構想」の実現を目指しています。

実現に向け、甲府市に開設した専門支援機関「メディカル・デバイス・コリドー推進センター」では研究開発に加え、部品・材料供給による参入支援の展開やスタートアップ企業の育成、医学部を擁する山梨大学と連携した専門人材の育成などに取り組んでいます。



## やまなし水素・燃料電池関連産業

県では、太陽光発電などの再生可能エネルギーの電力を使い水からグリーン水素を製造するパワー・ツー・ガス (P2G) システムの開発に、民間企業と共同して取り組んでいます。グリーン水素は、P2G システムによって水を電気分解して造られ、燃やしても二酸化炭素を排出しないことから、脱炭素社会の実現に向けた究極のエネルギーとして注目を集めています。

甲府市の米倉山には P2G システムのほか、水素・燃料電池の研究・開発施設が高度に集積しています。これを「米倉山電力貯蔵技術研究サイト」として整備し、水素エネルギーや蓄電システムに関する最先端の研究開発の実証実験を行うとともに、研究事業の誘致を一層推進させるべく取り組んでいます。

その他、山梨大学燃料電池ナノ材料研究センターをはじめとした世界トップレベルの水素・燃料電池関連の研究開発拠点が県内に集積しており、その強みを生かし、県内企業の製品開発や部材供給による参入支援、専門人材の育成にも取り組んでいます。



## オープンプラットフォーム山梨

スタートアップ企業などが持つ最先端技術や新たなサービスにより、本県の抱える地域課題の解決を図るため、本県をフィールドに実施する実証実験を全面的にサポートする「TRY! YAMANASHI! 実証実験サポート事業」を行っています。

地域特性を生かした実証実験が盛んに行われる環境づくりを進め、未来を切り拓く起業家などの交流による好循環を生み出すことで、新たな産業の創出や関連産業の集積を図り、雇用の拡大や県内経済の活性化につなげていきます。



# World Heritage 世界遺産

## 世界遺産富士山 「信仰の対象と芸術の源泉」

日本一の高さを誇る富士山。2013年6月22日に「富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと、世界文化遺産に登録されました。

富士山は「信仰の対象」であるとともに「芸術の源泉」として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与えてきた歴史があります。

かつて富士山は、激しい噴火を繰り返す火の神として人々から畏れられていました。しかし、平安時代になり噴火が沈静化してくると、富士山の中に入り修行する人が現れます。このような人々の信仰は一般民衆にも普及し、江戸時代になると富士講と呼ばれる信仰集団が爆発的に広まり、多くの人々が富士山に登るようになります。また、葛飾北斎などの浮世絵のモチーフとして富士山が多用され、日本人の生活に溶け込んでいきます。人と自然が信仰と芸術を通して共生する姿は、富士山が持つ大きな特徴といえるでしょう。

このような富士山の歴史や文化にゆかりのある25の構成資産には、その山体だけでなく、周囲にある神社や風穴、溶岩樹型、湖沼などもあります。ユネスコ世界遺産委員会はこれらの価値を認め、未来に受け継ぐべき世界の宝として世界文化遺産への登録を決定したのです。



中ノ倉峠から望む富士山と本栖湖

### 構成資産分布図



### 富士山世界遺産センター



富士山の「信仰」と「芸術」、自然など25の構成資産からなる「世界遺産富士山」の魅力を分かりやすく紹介する施設です。リニューアルした南館では、富士信仰の旅をVR映像で体験することもできます。北館では、富士山や周辺地域などの観光案内を行っています。

富士河口湖町船津6663-1  
TEL 0555-72-0259  
FAX 0555-72-0211



### 信仰の対象



⑩北口本宮富士浅間神社

富士山信仰の聖地。富士講が富士登拜に出発すると、まずこの神社を参拝し、境内にある登山鳥居をくぐり富士山頂を目指しました。



④御師住宅（旧外川家住宅）  
※⑩小佐野家住宅は非公開

1768年に建てられた御師の家。御師は、富士登拜に訪れる富士講を迎え入れ、食事や宿泊の世話をするとともに布教活動も行い、富士山信仰を支えていました。



①船津胎内樹型  
※②吉田胎内樹型の内部は一般公開されていません

937年の富士山噴火の際に流出した溶岩でできた世界的にも珍しい樹型の一つ。樹型の内部には富士山の祭神「木花開耶姫命」が祭られています。

### 芸術の源泉



富嶽三十六景 凱風快晴  
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

通称「赤富士」。凱風とは南風のことで、夏の朝、赤みを帯びた富士の山肌が日を受け、さらに赤く輝く現象が起こります。その一瞬を簡潔な構図と色彩で伸びやかに描いています。



富嶽三十六景 諸人登山  
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

つえを使って登る者、疲れて腰を下ろす者、岩室で休む者など富士山頂付近の富士講が描かれています。信仰の山としての富士山を主題にしていることが感じ取れます。



富嶽三十六景 甲州三坂水面  
(葛飾北斎) 山梨県立博物館蔵

甲府盆地と河口湖を結ぶ御坂峠からの景色を描いています。実際の富士山が夏の様子であるのに対し、河口湖面に映る逆さ富士には雪が積もっているところがユニークです。

# 日本遺産

Japan Heritage

## 日本遺産に認定されている 4つのストーリー

日本遺産とは、国内の各地域に点在する史跡や伝統芸能など、有形や無形の文化財をパッケージ化し、歴史的な魅力や特色を通じて文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定するものです。

山梨県では4つのストーリーが日本遺産として認定されています。



甲州市勝沼地域のフルーツライン付近から望むブドウ畑

山梨県峡東地域  
山梨市 笛吹市 甲州市  
葡萄畑が織りなす風景

甲府盆地の東部は平坦地から傾斜地まで葡萄畑が広がり、初夏には深碧の絨緞、秋には紅葉の濃淡が日に映え、季節ごとに様々な風景を魅せてくれます。

奈良時代から始まったと伝えられる葡萄栽培は、先人たちの知恵と工夫により、かつて水田や桑畑だった土地を一面の葡萄畑に変え、またその葡萄畑に育まれたワインは日常のお酒として地域に根付きました。今も歴史を語る技術や建物は受け継がれ、葡萄畑の風景の中に溶け込んでいます。



巨岩や奇石などを有し、希少な造形美を形成する昇仙峡

昇仙峡一帯の山地は、水の塊と信じられていた水晶を産出する水源信仰の地であり、地域を流れる荒川上流を訪ねると大小の滝や巨岩、奇石を見ることができます。水がつくった芸術品ともいえる渓谷美は、地域の人々により日本有数の景勝地として磨き上げられました。

また、産出された水晶と匠の技として伝承される加工技術は、日本一のジュエリー産業の基盤になりました。さらにその加工技術は人工水晶製造技術へつながり、電子機器などに使用されるなど、現代に至る私たちの生活を支えています。

甲州の匠の源流・御嶽昇仙峡  
水晶の鼓動が導いた信仰と技、そして先進技術へ

甲府市 甲斐市

## 星降る中部高地の縄文世界

数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅

山梨県 甲府市 韮崎市 南アルプス市  
北杜市 笛吹市 甲州市  
長野県 茅野市 富士見町 原村 諏訪市  
岡谷市 下諏訪町 長和町 川上村



日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、ほかでは見られない縄文時代の黒曜石鉱山があります。鉱山の森に足を踏み入れると、そこには縄文人が掘り出したキラキラ耀（かがや）く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきました。日本最古のブランド「黒曜石」は、最高級の矢じりの材料として日本の各地にもたらされました。

麓のムラで作られた、ヒトや森に生きる動物を描いた土器やヴィーナス土偶を見ると、縄文人の高い芸術性に驚かされ、黒曜石や山の幸に恵まれて繁栄した縄文人を身近に感じることができます。



旧宮崎葡萄酒醸造場施設（宮光園）



宮光園での醸造作業風景



大黒天印甲斐産葡萄酒と甲斐産エビ葡萄酒



甲州市内の和風建築のワイナリー

国産ブドウを原料とし、国内で醸造される日本ワイン。その140年にわたる歴史において、甲州市の勝沼地域では、地元のブドウ農家と共存繁栄を図ることで、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーが誕生しました。また、茨城県牛久市の牛久シャトーは、大規模な醸造体制を確立しました。

明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして、民間の力で成し遂げたのです。

日本のワイン文化の広がりにも貢献した2つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなることでしょう。

日本ワイン140年史  
国産ブドウで醸造する和文化的結晶

山梨県 甲州市 茨城県 牛久市

# 山梨の文化財

長年にわたる人々の生活の中で創り出し、守り伝えられてきた宝物  
Important intangible cultural assets and national treasure of Yamanashi



## てんずしまい 天津司舞

昭和51年5月4日指定  
(甲府市小瀬町・下鍛冶屋町)

日本第一号の重要無形民俗文化財に指定されている、日本最古の人形芝居である。その年の豊作を願って舞う田楽芸能の一つ。9体の人形は小瀬町の天津司神社を出発し、下鍛冶屋町の鈴宮諏訪神社の境内に張られた幕の中に入り、舞を奉納する。人形は等身大で、舞は水上での神々の姿を再現したものといわれる。現在は4月の第一日曜日に開催されている。

画像提供:甲府市

## かわぐち ちご まい 河口の稚児の舞

平成29年3月3日指定  
(富士河口湖町河口)

河口浅間神社の毎年7月28日の太々神楽祭に奉納されている。神楽に奉仕するのは、氏子の中の7歳から12歳までの「おちいさん」と呼ばれる女の子。おちいさんは両親が健全なことが絶対条件で、舞を奉納する1週間前からは4足のを食べてはいけないなどの厳粛さがある。



画像提供:富士河口湖町



画像提供:富士吉田市

## よしだ ひまつり 吉田の火祭

平成24年3月8日指定(富士吉田市上吉田)

吉田の火祭は北口本宮富士浅間神社とその摂社の諏訪神社の祭りで、江戸時代から富士山信仰の隆盛とともに賑わった祭りであると「甲斐国志」にも記載されている。7月1日の富士山のお山開きに対して、お山仕舞いのお祭りとして8月26日に行われる。巨大な富士山型の神輿が勇壮に渡御し、市内に並べられた大松明が燃やされる。

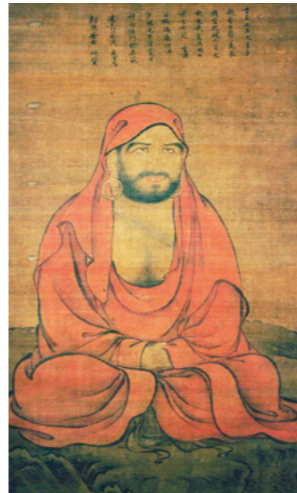


画像提供:上野原市

## むしろうの だいにんぶつ 無生野の大念仏

平成7年12月26日指定(上野原市秋山無生野)

大念仏は人々が一堂に集まって念仏を唱える行事。江戸時代までは各地に伝えられていたが、現在でも完全な形を残しているのは、県下では無生野だけとなっている。この地域では鎌倉時代末期、後醍醐天皇の王子である大塔宮護良親王らの悲運の伝説にちなんで悪霊退散を祈願したものが起源と語られている。



## けんぼんちゃくしょくだるまざ 絹本著色達磨図

昭和28年11月14日指定  
(甲州市塩山 向嶽寺所有)

達磨が朱衣に身を包んで岩上に座する本図は、その生き生きとした描写や重厚な筆致から、優品としての評価が高い。着賛している蘭溪道隆は、鎌倉建長寺を開山した中国からの渡来僧で、東光寺や永岳寺を開山するなど、本県にも関係がある。13世紀頃の作である。



## だいぜんじほんどう 大善寺本堂 つきたり ずし 附 厨子

昭和30年6月22日指定  
(甲州市勝沼町 大善寺)

鎌倉時代の密教系本堂の代表的建物で、東日本で最も優れた和様建築ともいわれている。内部の隅柱にある1286(弘安9)年の刻銘から、1270(文

永7)年の火災で焼失した後、鎌倉幕府の援助を受けて再建された、山梨県では最古の建物であることが判明している。

## こざくらかわおどしよらい 小桜韋威鎧 かぶと おおそでつき 兜、大袖付

昭和27年11月22日指定  
(甲州市塩山 菅田天神社所有)

平安時代の風格を今も伝えるこの鎧は「楯無鎧」の名で知られ、御旗(甲州市塩山 雲峰寺蔵、県指定文化財)とともに武田家の重宝だったとされる。信玄の時代、鬼門鎮護のため菅田天神社に納められたが、武田氏が滅んだ際、敵の手に渡らないよう向嶽寺の大杉の根元に埋めたものを、徳川家康が掘り出し再び同社に納めたと伝えられる。



## けんぼんちゃくしょく 絹本著色 かけいさんすいず 夏景山水図

昭和30年6月22日指定  
(身延町 久遠寺所有)

本来四季山水図の一つとして描かれたものと考えられるが、春景図は失われている。京都金地院に残る秋景・冬景図二幅とともに北宋の徽宗皇帝の作とも伝えられる。12世紀初めとも、13世紀初めの作ともいわれるが、足利義満の所蔵印が押されていることから、14世紀には既に日本に伝来していたことが分かる。北宋・南宋時代の山水図を代表する名品である。



## せいはいくじぶつでん 清白寺仏殿

昭和30年6月22日指定  
(山梨市三ヶ所 清白寺)

臨済宗の古刹・清白寺にあり、中世禅宗様仏殿の典型例として知られる。清白寺創建時の1333(正慶2)年の建

築と伝えられてきたが、1917(大正6)年の解体修理の際に発見された墨書によって、1415(応永22)年であることが確認された。

## スモモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」や「太陽」、県オリジナル品種の「サマーエンジェル」「皇寿」が注目されています。



サマーエンジェル

貴陽

日本 No.1

## ブドウ

栽培面積、生産量ともに日本一です。栽培の歴史は古く、山梨県では約1300年前から始まったといわれています。大粒で着色に優れる県オリジナル品種「ブラックキング」や「巨峰」「シャインマスカット」「ピオーネ」など、品種は豊富です。また「甲州」はワイン用としても有名な本県独自の品種です。



(上)甲州 (下)シャインマスカット

日本 No.1

## 日本酒

令和3年に指定を受けたGI「山梨」の日本酒は、仕込み水の水系が限定されているのが特徴。柔らかで透明感のある味わいは、塩気を感じさせる料理との相性が抜群です。



提供:山梨県酒造協同組合

## ブランド食肉

山紫水明の自然豊かな山梨県で、磨き抜かれた飼育技術により丹念に育てられた「甲州牛」や「甲州ワインビーフ」「甲州富士桜ポーク」「甲州地どり」などの甲州統一ブランド食肉に加え、捕獲したニホンジカを活用し、食肉の安全・安心を担保した「やまなしジビエ」などがあります。

甲州牛



やまなしジビエ(シカ肉)



甲州富士桜ポーク

## モモ

栽培面積、生産量ともに日本一です。県オリジナル品種の「夢みずき」や「白鳳」「なつっこ」などが代表的な品種で、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが約80%を占めます。



夢みずき

日本 No.1

# 山梨の逸品

美しい風土の中で伝統に育まれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

Specialities of Yamanashi

## ワイン



山梨県は日本のワイン醸造発祥の地であり、都道府県別ワイナリー数「日本ワイン」の生産量とも日本一です。約90ものワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しており、中でも、日本固有のブドウ品種「甲州」で造られる白ワインは、和食に合う味わいが特徴で、和食ブームが続く海外でも注目されています。

日本 No.1

## 和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の773(宝亀4)年の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。市川三郷町の「市川大門手漉和紙」と身延町の「西島手漉和紙」は山梨県郷土伝統工芸品に認定されています。



## 花き

山梨県では、洋ランやオリジナル花きなど気象条件や技術を生かした高品質な花が生産されています。12月に雪のような白い花を咲かせる「クリスマスエリカ」とともに、富士山のような円すい形の花や花色変化が特徴の「ピラミッドアジサイ」なども新たに注目されています。



クリスマスエリカ

ピラミッドアジサイ

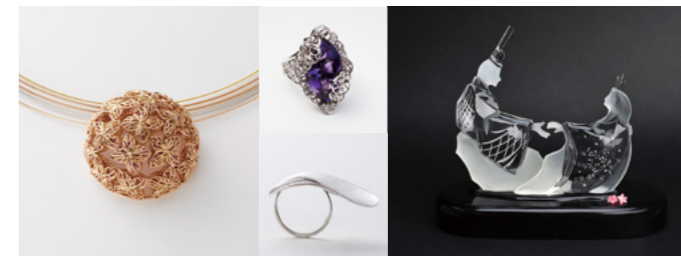
## 印章

文久年間に水晶のてん刻から始まったといわれ全国有数の産地です。印材には、水晶、つげ、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は「甲州手彫印章」として国の伝統的工芸品に指定されています。



## ジュエリー

山梨県は、宝石の加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品では、国内屈指の出荷額を誇っています。さまざまなジュエリーに加え、国の伝統的工芸品に指定されている水晶貴石細工といった幅広い宝飾製品がそろっています。



Koo-fu(クーフー)コレクション

甲州水晶貴石細工

## 織物

山梨県の織物は、独特の光沢や風合いで江戸時代より人々の心をとらえた「甲斐絹」をルーツとしています。現在、甲斐絹の技は婦人服、インテリア、裏地、傘地などに生かされ、ネクタイ生地では日本のシェアを誇っています。



日本 No.1

## 印伝

江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ、袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿革に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので「甲州印伝」として国の伝統的工芸品に指定されています。



## 硯

甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ「和端溪」と呼ばれています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気高いものとなっています。







### おつけだんご

(大月市)  
養蚕が盛んだった大月市の農家で食べられてきた料理。旬の野菜を煮た汁の中に小麦粉の団子を入れたもの。みそやしょうゆ、塩などの味付けや団子の形が家庭によって違い、おふくろの味として親しまれている。



### 吉田のうどん

(富士吉田市)  
富士吉田市では織物業が盛んであったことから、男性が食事の支度をしてきた。そのため簡単に作れ、非常に腰があり歯ごたえがあるうどんが、よく作られるようになった。具にキャベツをふんだんに使うことも特徴で、富士吉田市を中心に50軒以上のうどん店がある。



### ほうとう

(県内全域)  
「うまいもんだよ カボチャのほうとう」といわれ、誰もが知る山梨県の代表的な郷土食。武田信玄公が考案した陣中食であったといわれているが、文献上は江戸時代以降に多く登場する。峡南地域では「のし入れ」「のし込み」とも呼ばれている。



### カツ丼

(県内全域)  
山梨県で「カツ丼」を注文すると、ご飯の上にキャベツがのり、その上にとんかつがのった丼が出てくる。この上にたっぷりとソース(ウスター)を掛けて食べる。とんかつの肉汁や、ソースが浸み込んだご飯も絶品とされている。県外で一般的な「卵でとじたカツ丼」は「煮カツ丼」と呼ばれ、別の料理である。

# 山梨の郷土食

各地域で受け継がれる山梨の食文化  
Local cuisine of Yamanashi

### 富沢こわめし

(南部町)  
南部町の名産品たけのこを用いたおこわで、旧富沢町で作られていたことから「富沢こわめし」と呼ばれている。地元で採れた旬の山菜も使用し、春の季節を感じることができる。毎年4月に開催されるたけのこまつりでは、たけのこご飯を食べることができる。



### おざら

(中北地域、峡南地域)  
おざら(おだら)は古くから伝わる郷土料理の一つで、ほうとうに使用するより細めの冷やした麺を温かいしょうゆベースのつゆにつけて食べるのが一般的。のど越しがよく、夏場に食べる人が多い。



### せいだのたまじ

(上野原市)  
たまじと呼ばれる小さなジャガイモをみそで甘辛く煮詰めた郷土料理。江戸時代の名代官・中井清太夫は、飢饉の際にジャガイモ栽培を広めて窮地を乗り切った。人々が感謝を込めてジャガイモのことを「せいだ」と呼ぶようになったのが、名前の由来といわれている。



### 鳥もつ煮

(甲府市)  
鶏の砂肝、ハツ、レバーなどを甘辛く濃厚なしょうゆダレで照り煮した甲府独自の料理で、市内のそば屋やほうとう屋の定番メニューとなっている。「B1グランプリ」でゴールドグランプリを受賞し、山梨の郷土食として全国区となった。

### 小豆ほうとう

(中北地域、峡南地域)  
まず小豆を甘く煮立て、さらにほうとうを入れて煮た小豆ほうとうは、地区行事や祝いの折にも食べられてきた。北杜市須玉町若神子の三輪神社で毎年7月末に行われる祭りでは、小豆ほうとうが振る舞われることから「ほうとう祭り」とも呼ばれている。



### にんじんめし

(市川三郷町)  
市川三郷町の大塚地区は「のっぴい」と呼ばれる土壌で、肥沃なうえに石がほとんどないため、1mもの長さに育ち、食物繊維を多く含み、栄養価が高い「大塚にんじん」を育てるのに適した地域。毎年12月に、みたまの湯で開催される収穫祭では、にんじんめしが振る舞われる。



### みみ

(富士川町)  
富士川町十谷の集落に伝えられている郷土料理。小麦粉を練って薄く延ばし、3cmの正方形に切り「箕」(農作業で使う道具)の形を作り、季節の野菜と一緒にみそで煮込む。昔、神様に奉納した「福箕」になぞらえて食べられるようになったともいわれている。



### 馬刺し

(県内全域)  
山梨県は主要街道である甲州街道が通り、また、富士山信仰で登山者の荷揚げ用で必要とされ、馬が身近であったことから、馬肉料理が盛んになったともいわれている。馬肉生産量全国5位、吉田のうどんにも馬肉が用いられている。



### おねり

(笛吹市、甲州市、身延町)  
ジャガイモやカボチャなどの穀物とウモロコシの粉に塩湯を入れてかき混ぜて、ねっとり固まったところを食べる郷土食。山間地域の米の生産量が少ない地域では、麦やそばなどの雑穀を使って作られ「朝はおねり、昼はおやき、夜はほうとう」という言葉が残るほど、盛んに食べられていた。



### うらじろまんじゅう

(甲州市)  
日当たりの良い山野に生息するキク科のオヤマボクチの葉を練り込んだまんじゅう。甲州市大和町では、オヤマボクチの葉の裏が白いことから「うらじろ」と呼んでいる。ヨモギとは違った風味がある。



### いのぶた鍋

(山梨市)  
戦後、三富地区で飼育が推奨されていたイノシシとブタを掛け合わせた「いのぶた」肉は、豚肉と比べて柔らかく、赤身が強いのが特徴とされている。いのぶた鍋はごま味噌または、みりん味噌がベースのスープに、地元で採れた野菜やキノコと一緒に煮込んだ料理。

# おもな県立施設ガイド

Prefectural Facilities Guide

身障者用駐車場有り
 出入り口平坦またはスロープ有り
 車いす対応エレベーター有り
 車いす用観覧席有り
 車いす用トイレ有り



## 県立美術館

1978年の開館以来「ミレーの美術館」として広く親しまれています。ミレーの代表作《種をまく人》《落ち穂拾い、夏》のほか、バルビゾン派の作家の作品や、山梨ゆかりの作家の作品などを収蔵。年4回テーマを設けて、展示替えを行っています。

甲府市貫川1-4-27 (芸術の森公園内)  
TEL 055-228-3322  
FAX 055-228-3324



## 県立文学館

樋口一葉、太宰治、芥川龍之介、飯田蛇笏、飯田龍太など山梨出身・ゆかりの文学者の原稿や愛用品を展示。特に芥川に関しては、全国でも有数のコレクションを誇り「羅生門」をはじめ約5,000枚の下書き原稿を所蔵しています。

甲府市貫川1-5-35 (芸術の森公園内)  
TEL 055-235-8080  
FAX 055-226-9032



## 県立考古博物館

ここでしか見ることのできない重要文化財の縄文土器に出会える博物館。日本有数の美しい縄文土器は必見です。考古博物館のある風土記の丘・曾根丘陵公園内には国史跡の古墳などがあり、ARアプリを使えば時空を超えて当時の姿を体感できます。

甲府市下曾根町923  
TEL 055-266-3881  
FAX 055-266-3882



※平屋建なのでエレベーターなし



## 県立博物館

子どもから高齢者まで世代を超えて交流し、歴史と文化を学ぶ場、情報発信の場として平成17年に開館しました。「山梨の自然と人」をテーマに、山梨の豊かな自然と向き合ってきた人々の暮らしの歴史を、分かりやすく展示しています。

笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631  
FAX 055-261-2632



※平屋建なのでエレベーターなし



## 山梨ジュエリーミュージアム

山梨の宝飾産業の歴史や職人たちの卓越した技術を紹介するとともに、その技術によって生み出される美しい宝飾品の数々を展示しています。土・日・祝日には職人による実演や、ジュエリー制作体験(有料)を行っています。

甲府市丸の内1-6-1  
山梨県防災新館1階やまなしプラザ内  
TEL 055-223-1570  
FAX 055-223-1572



## ゆめソーラー館やまなし

環境学習や次世代エネルギーに関する情報提供の場として、地球温暖化をはじめとする環境問題や、太陽光発電などの再生可能エネルギーについて分かりやすく紹介しています。

甲府市下向山町3443-1  
TEL 055-269-6685



※平屋建なのでエレベーターなし



## 県立科学館

「科学の不思議」を見て、触れて、体験して、学ぶ」をテーマに、体験展示やサイエンスショー、スペースシアターや実験工作などを通じて、楽しみながら科学を体験できます。

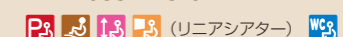
甲府市愛宕町358-1  
TEL 055-254-8151  
FAX 055-240-0168



## リニア見学センター

時速500kmで走行試験する超電動リニアを間近で見学できる日本唯一の施設です。平成15年に世界最高速度を記録した試験車両を展示しているほか、リニアジオラマやミニリニアなど、体験学習機能が充実しています。(リニア走行試験スケジュールはHPにて要確認)

都留市小形山2381  
TEL 0554-45-8121  
FAX 0554-45-8122



# 山梨散策

A stroll through Yamanashi

山梨県は、東京圏に隣接しながら、富士山、南アルプスをはじめとする自然景観や、鮮やかに移り変わる四季、さらに豊かな山々と森の息吹に育まれた清らかで良質な水を有する「水と緑の宝庫」です。

また、ブドウ、モモ、スモモに代表される豊かな果物、温泉やワイン、武田信玄公ゆかりの史跡や文化財など、特色あふれる地域資源に恵まれています。

山梨県では、これらの素晴らしい魅力を発信し、観光客の誘致や移住・定住者の増加を図っています。



6 猿橋 (日本三奇橋の1つ)



7 河口湖もみじ回廊



8 山中湖に映る逆さ富士



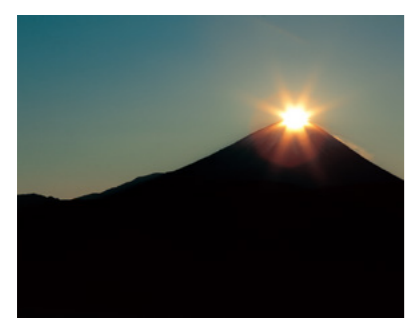
1 尾白川渓谷



2 明野のヒマワリ畑



3 新府桃源郷と南アルプス



4 富士川町高下から望むダイヤモンド富士



5 武田神社



**問い合わせ先**  
 観光全般に関すること  
 観光文化政策課 TEL 055-223-3776  
 誘客の促進、国際観光の振興に関すること  
 観光振興課 TEL 055-223-1557  
 山岳観光、周遊観光の促進に関すること  
 観光資源課 TEL 055-223-1576  
 県内観光地や着地型観光に関すること  
 (公社) やまなし観光推進機構 TEL 055-231-2722

富士の国やまなし観光ネット

## 山梨県へのアクセス

甲府方面	身延方面
<p>●お車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 高井戸IC 中央自動車道/約1時間30分</p> <p>神奈川方面から 横浜市方面 海老名JCT 中央道/約20分 → JCT子 中央自動車道/約1時間</p> <p>埼玉方面から 園央鶴ヶ島IC 園央道/約30分 → JCT子 中央自動車道/約50分</p> <p>長野方面から 松本IC 長野道/約20分 → 阿谷JCT 中央自動車道/約30分</p> <p>愛知方面から 名古屋IC 中央自動車道/約3時間</p> <p>静岡方面から 静岡IC 中部横断自動車道/約1時間30分</p> <p>御殿場IC 国道139号線 東富士五湖道路 中央自動車道(大月JCT経由)/約1時間</p>	<p>●電車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 新宿駅 JR中央本線/約1時間30分 → 甲府駅 JR身延線/約1時間</p> <p>静岡方面から 静岡駅 JR身延線/約1時間20分</p>
河口湖方面	
<p>●お車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 高井戸IC 中央自動車道/約1時間20分 → 河口湖IC</p> <p>東京IC 東名高速/約1時間 → 1御C殿場 国道139号線/約20分 → 東富士五湖道路/約15分</p> <p>愛知方面から 名古屋IC 東名高速・新東名高速/約2時間15分 → 1御C殿場 国道139号線/約1時間 → 富士河口湖町</p> <p>静岡方面から 静岡市方面 東名高速・新東名高速/約30分 → 富士IC・新富士IC 国道139号線/約1時間 → 富士河口湖町</p>	<p>●電車でお越しの場合</p> <p>東京方面から 新宿駅 JR中央本線/約1時間 → 大月駅 富士急行線/約50分 → 河口湖駅</p>